

令和7年9月1日

第103回安来市議会定例会 9月定例会議

市長所信表明

安 来 市

第103回安来市議会定例会9月定例会議の開議に当たり、諸議案の説明に先立ちまして、最近の市政の主な動きと所信の一端を申し上げます。

はじめに、渇水対策についてであります。

梅雨明け後の降雨が少ない状況が続き、島根県が管理する布部ダムと山佐ダムへの貯水量が減少したため、7月23日から農業用水の取水制限が行われ、7月30日には上水道を含む都市用水の取水制限も始まりました。

このことを受け、市では7月31日に渇水対策本部を設置し、8月5日には都市用水等の取水制限がさらに強化されたことから、水道水の供給域である、安来地域の皆様に節水のお願いをするとともに、市のプール施設の休業や、民間の保育施設に対してもプール使用の停止をお願いするなどの渇水対策を実施しました。

その後、8月10日からの降雨により布部ダムと山佐ダムの貯水量が回復し、8月12日には都市用水等の取水制限が全面的に解除されたことから、渇水対策本部を廃止し、節水を呼びかけるなどの渇水対策も解除しました。

市民の皆様をはじめ多くの関係者の皆様に、節水のご協力をいただきましたことに、感謝を申し上げます。

次に、林野火災についてであります。

8月4日に布部地区で発生しました林野火災は、道路や水源がない山深い場所で発生し、乾燥や強風などの気象状況の影響も相まって消火活動が困難を極め、山林約3.5ヘクタールが焼失しました。

対応状況の経過としましては、8月5日に市の災害対策本部を立ち

上げ、島根県に対して自衛隊の派遣を要請したところです。同日には、鳥取県、山口県の防災ヘリにより30回以上の消火活動を行っていただき、自衛隊には5日から6日にかけて全国からヘリコプターを派遣してもらい、70回以上の消火活動を行っていただきました。

これらの懸命な消火活動と7日早朝からの大雨により、火の勢いは弱まり、8月7日の鎮圧確認を持ちまして、島根県に対して自衛隊災害派遣の撤収要請を行い、その後消防本部、消防団で残火処理活動を行い、8月8日13時に鎮火したところであります。

このたびの林野火災におきましては、住民の皆様には大変なご心配をおかけしました。困難な状況の中で消火活動にご尽力をいただきました自衛隊、島根県、鳥取県、山口県、そして消防団の皆様に、心より感謝申し上げます。

次に、安来市の重点施策に関する島根県への要望についてであります。

去る8月5日に、島根県議会の嘉本議員、田中議員にご同行いただき、安来市議会の岩崎副議長とともに、丸山島根県知事に、スマートインターチェンジ周辺道路整備に対する支援や、地域医療を維持するために必要な医師確保など、安来市の諸施策の実現に向けて、県の支援を求める要望を行ってまいりました。

引き続き、島根県との連携のもと、住民が豊かで安心できる持続可能な地域社会の構築を図ってまいりたいと考えております。

次に、株式会社出雲村田製作所の工場立地計画についてであります。

令和7年4月1日に、株式会社出雲村田製作所、島根県、安来市の三者により「造成事業基本協定書」を締結し、現在、島根県によりま

して造成事業の設計業務が進められているところであります。

用地買収なども順調に進んでいると伺っており、地権者のみなさまをはじめ、地元の関係者の方々のご理解、ご協力によるものと深く感謝をしております。

令和８年度には、島根県を事業主体とし、造成工事に入る予定であり、その後、出雲村田製作所による工場の建設工事を経て、令和１２年頃の工場完成を目標に事業が進められています。

この工場立地により、雇用の創出が見込めることはもちろん、定住の促進や地域経済の活性化に大きな効果があるものと考えており、引き続き島根県と連携を図りながら、住環境や周辺道路などの環境整備についても進めていく所存であります。

次に、第３次安来市総合計画についてであります。

現行の総合計画が、令和７年度に計画期間の終期を迎えることから、令和８年度以降を計画とする、第３次安来市総合計画の策定に向けて取り組んでおります。

７月２２日に伯太会場、７月２３日に広瀬会場、７月２８日に安来会場にて、基本構想案の説明や、参加者ワークショップを行う安来市まちづくりタウンミーティングを開催しました。

それぞれの会場にてご参加いただいた市民の皆さんから、次の総合計画に対する意見や、安来の未来と幸せな暮らしを考えるための様々なご意見をいただいたところです。

今回のタウンミーティングを始め、これまでに行いました、市民アンケートや若者向けワークショップなどで頂戴しました、様々なご意見を踏まえ、安来市総合計画審議会の審議を経て、１２月に基本構想案を市議会に提出する予定としております。

次に、全国高等学校総合体育大会についてであります。

フェンシング競技大会が、安来市を会場に、8月5日から9日までの5日間の日程で開催されました。

地元高校の結果は、女子では安来高校の藪崎 詩（やぶざき うた）選手がサーブルで5位、男子では安来高校の村田煌冨（むらた こうが）選手がフルーレで6位、エペで8位という成果を収められ、学校対抗では安来高校女子がベスト16という成果を挙げられました。

また、バレーボール競技大会におきましても、男子、女子ともに安来高校が島根県代表として出場し、全国を舞台に活躍されました。

皆さんの健闘に心から称賛を送りたいと思います。

なお、フェンシング競技大会につきましては、期間中、連日、多くの観客の皆様が応援席を埋め尽くし、大会を大いに盛り上げ、選手たちを奮い立たせる大きな力となりました。大会運営に際し、支えてくださった高校生スタッフをはじめ、高体連、フェンシング協会等、すべての関係者の皆様に感謝を申し上げます。

次に、国際交流事業についてであります。

7月24日から7月27日までの日程で、韓国密陽市（ミリャン市）に、8月19日から8月22日までの日程で、台湾新店区に、それぞれ4日間の日程で市内中学生6名を派遣し、現地の中学生と交流する研修事業を実施しました。

なお、台湾新店区への中学生派遣につきましては、今年度が初めての実施となります。

参加した中学生からは、「国が違っても人の繋がりをつくることができることを学んだ」、「言葉や文化の違いがあっても仲良くなれる」な

どの感想がありました。

今後も、こうした事業を通じて、若い世代に異文化交流の機会を提供するとともに、市民一人一人の国際理解と多文化共生の意識を深めてまいりたいと考えております。

次に、「新・BS 日本のうた」の公開収録についてであります。

10月23日に安来市総合文化ホール「アルテピア」を会場に行われる、「新・BS 日本のうた」の公開収録につきまして、この度、出演者が決定し、観覧申込の受付が開始されました。

豪華な出演者が素晴らしい名曲を披露する貴重な機会となります。皆様のご来場を心よりお待ちしております。

次に、安来市のこれからの医療提供体制についてであります。

本年3月議会の中で、引き続き社会医療法人昌林会と議論を深め、基本構想の策定に向けて取り組むこと、また、この9月の段階で、今後の方針を表明することを述べさせていただいたところです。

安来市の将来の人口構成の変化や国の医療政策の動向への対応、また、付随するそれぞれの医療機関の課題など、解決すべき事項は多岐にわたりますが、まずは、将来の安来市に必要な医療を残していくということを念頭に、両者で一致する、共有できる将来像について、現在も協議を継続し、整理を行っているところであります。

この将来像となる基本方針をまとめ、この議会中にお示しする考えであります。

最後に、先般、令和7年度の普通交付税の算定が行われ、対前年比約1億3,500万円増の約90億3,300万円と決定しましたので

報告いたします。

今回提案いたします案件は、一般会計補正予算を含む議決案件 19 件、認定案件 11 件、報告案件 9 件、同意案件 2 件、諮問案件 1 件であります。

諸議案の詳細につきましては、担当職員に説明させることとしております。何卒よろしくご審議をお願い申し上げます。